

ウ 地域行政への影響

地域の行政に対してどのような影響があったかについて、地元寄居町役場、小川町役場にアンケートした結果は、以下のとおりとなっています。

Q 資源循環工場が整備されたことで、町政に関して、どのような影響や効果があったか。(環境政策、産業政策、都市政策、財政面など全般に関して)
また、現在の仕組みや運営に関して、意見や要望などはあるか。

〔寄居町〕

資源循環工場は、環境分野で21世紀をリードする先端技術産業を誘導・集積し、民間の有する技術力・経営力と公共の有する計画性・信頼性を生かし、透明性の高い住民合意システムの下に全国に誇れる施設として整備された。町としても財政面や雇用創出面から期待をしてきた。環境面に関しても運営協定書が締結され、それぞれ環境保持に努力されている。

しかし、立地企業9社全てが経営面等について十分運営が行われなければ、公共関与の役割を果たしたことに繋がらない。全国のモデル施設としての施設管理は当然ながら労働環境等にも十分配慮した施設でなければならないが、若干計画時のイメージと相違している面がみられる。(臭気対策等)

また、財政・雇用等については、健全経営を図ることで反映されるものと考えている。

こうした観点を踏まえての公共関与については、しっかりした受入体制づくりの仕組みとともに、市町村事業における廃棄物のリサイクル推進等から資源循環工場への誘導的・指導的役割があって、公共関与による事業運営の健全化のつながっていくものと考えます。このことが、環境政策に対する埼玉県のイメージアップにつながるものです。

〔小川町〕

小川地区衛生組合の焼却炉が補修や点検のため、休炉となったときは、今までは、遠くの処理場まで運んで処理をしていたのが、近くの資源循環工場内で処理する事ができるようになったので、助かっている。また災害等が起こった時には災害廃棄物の処理等に期待が持てる。

(3) 公園緑地施設の整備

ア 整備状況

資源循環工場の整備にあたっては、周辺の緑と調和した潤いある環境空間として整備することとし、埋立跡地の活用と地域への貢献を目的に、PFI事業により、三ヶ山緑地公園や体育館などを整備しました。

三ヶ山緑地公園は、15.6haの中に、陸上トラックやサッカー広場、展望施設、野外ステージなどを備えており、土曜日や日曜日を中心に少年サッカーやグランドゴルフ等に利用されています。

三ヶ山体育館は、床面積874㎡に バスケットコート1面、バレーボー